



気候/持続可能性への認知度を高めるための債券

ニュースレター | 2022年6月

Ferrovie dello Stato 車両グリーンボンド・プロジェクトのサンプル画像。2021年に2億1,700万ユーロのCAB配分額を受領(未監査データ)



債券発行ハイライト

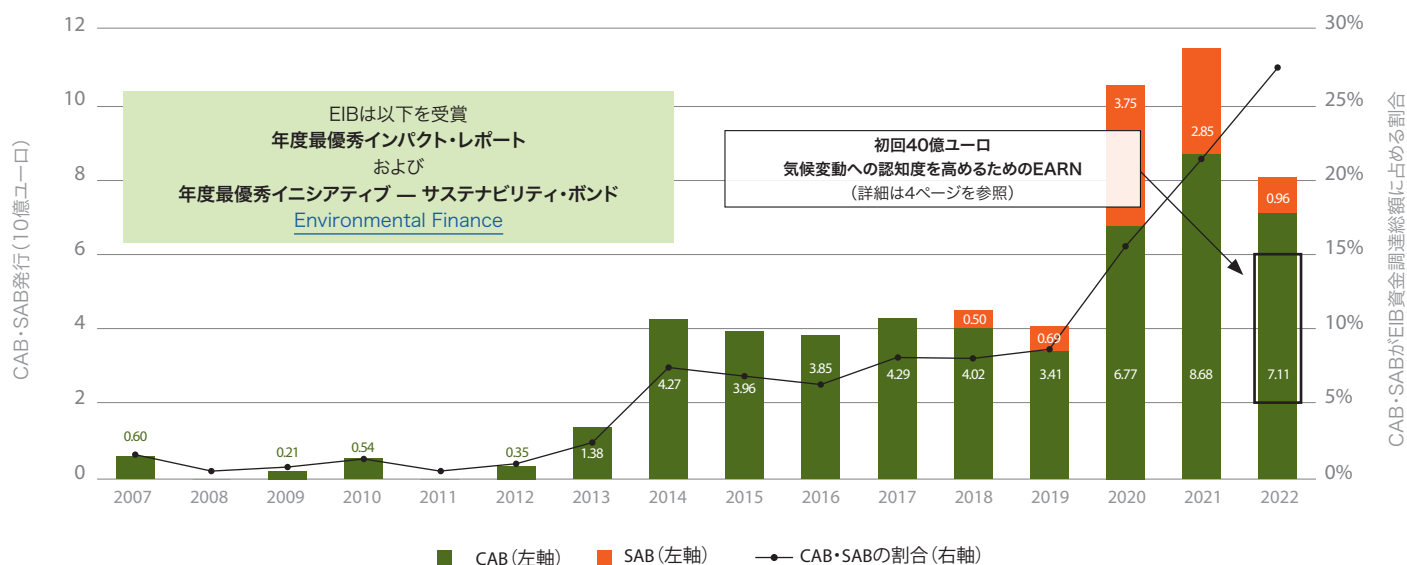
豪州とカナダ市場で記録的なサステナビリティ・ファンディングを実施、続いて過去最大となる「気候への認知度を高めるための債券(CAB)」を発行

欧州投資銀行(EIB)は、豪州ドル建てで過去最大(15億豪ドル)となる「持続可能性への認知度を高めるための債券(SAB)」の発行で、2022年のサステナビリティ・ファンディング(持続可能性関連の資金調達)をスタートしました。この債券はソブリン、国際機関、政府機関が発行した単一ランシェのサステナビリティ・カンガルー債として過去最大であり、豪州市場で初の公共・公募SABです。次に、カナダドル建て2025年償還のCABを14億カナダドル増額発行しました。同銘柄の発行残高は25億カナダドルで、国際機関の発行するメープル・グリーン債で最大となりました。これら2つの発行はともに旺盛な投資家需要に支えられました。今年初の新規CAB銘柄は7年債10億ユーロでした。この発行は、7倍以上の応募超過となり、EIBのユーロ建てグリーン・サステナビリティボンドのイールドカーブに新しく13個目の年限を付け加えました。

EIBがユーロ・エリア・リファレンス・ノート(EARN)形式で初めて発行したCABはCABでは過去最大で、サステナビリティ・ファンディングの新たな手法の嚆矢となるものです。

詳細は4ページ参照

CABおよびSABの発行額は2022年初来で81億ユーロ相当に達します。これら債券の2007年以降の発行合計額は、582億ユーロ(22通貨建て)で、EIBは国際開発金融機関では最大のグリーン・サステナビリティボンドの発行体です。



CABおよびSABの発行は、EIBプロジェクト局によって決定された一連のCAB/SAB適格融資に係る適格な支出すべてに対し資金を配分するものでなければなりません。

調達資金の配分

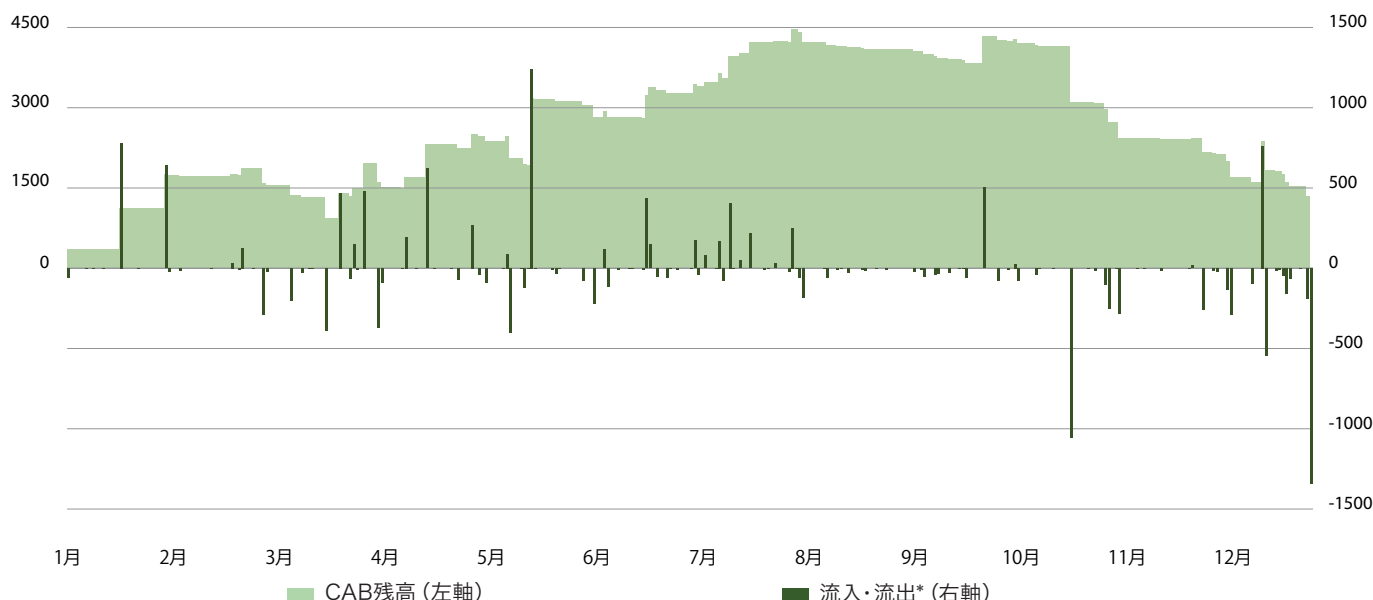
気候変動への認知度を高めるための債券(CAB)

EIBは2021年にCABを88億ユーロ発行しました。年間93億ユーロの融資がCAB発行で調達した資金の配分上適格となり、EIBの配分手続きに従いこの調達資金の内92億ユーロがこのような融資に割り当てられました。資金調達勘定CABポートフォリオ内のCAB調達資金の未配分残高は年初時点で4億ユーロ、年末時点でゼロでした。

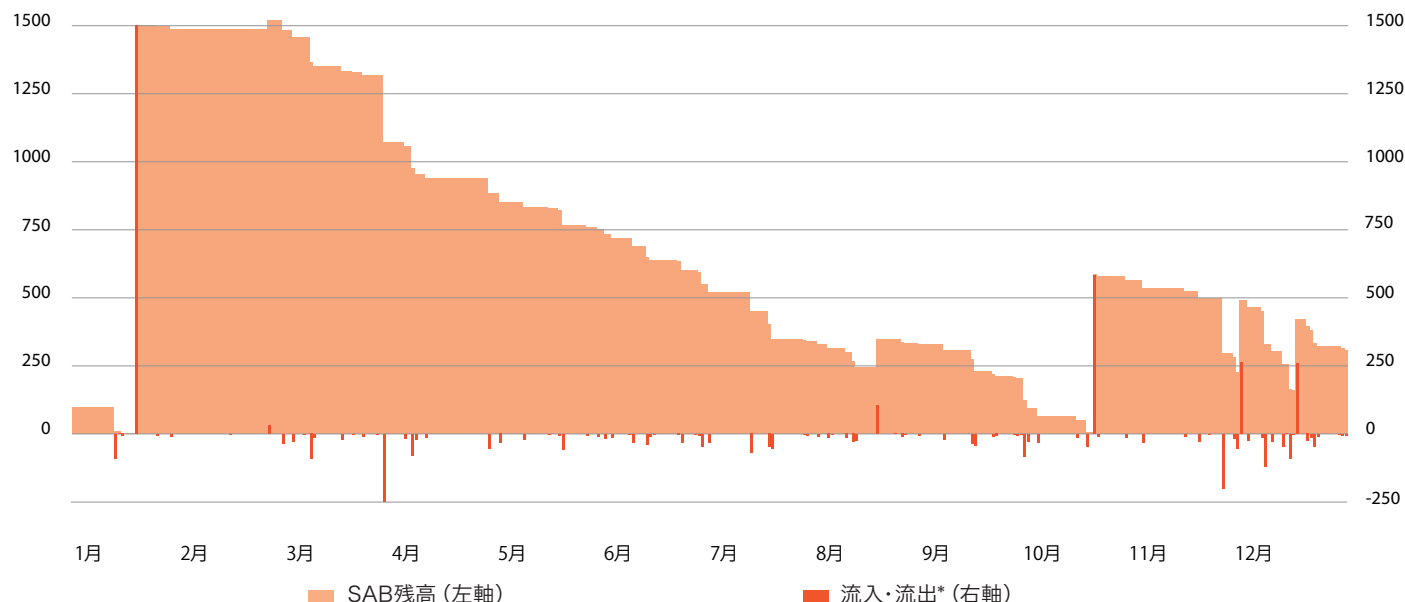
持続可能性への認知度を高めるための債券(SAB)

EIBは2021年にSABを29億ユーロ発行しました。年間27億ユーロの融資がSAB発行で調達した資金の配分上適格となり、EIBの配分手続きに従いこの調達資金の内27億ユーロがこのような融資に割り当てられました。資金調達勘定SABポートフォリオ内のSAB調達資金の未配分残高は年初時点で1億ユーロ、年末時点で3億ユーロでした。

CAB調達資金の未配分残高(百万ユーロ)



SAB調達資金の未配分残高(百万ユーロ)

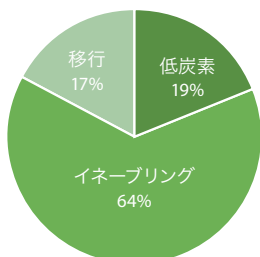


*流入はCAB/SABの発行であり残高増につながります。流出はCAB/SAB適格な融資実行への資金配分であり残高減につながります。

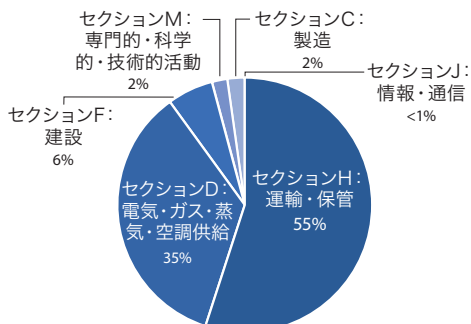
CABで調達した資金は、気候変動緩和に重要な貢献をする活動へのEIBの融資に分配されます。

2021年の末監査データによると、33か国106件のプロジェクトに対して92億ユーロが分配されました。このうち、85億ユーロはEU加盟18か国での86件のプロジェクトに分配され、6億3,400万ユーロは欧州連合以外の15か国20件のプロジェクトに分配されました。

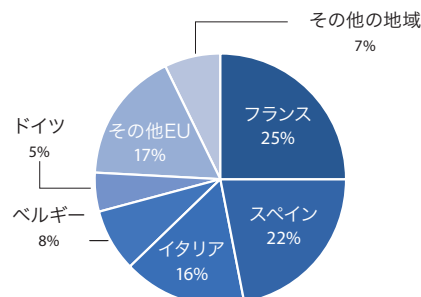
CABの配分
(気候変動緩和への貢献のタイプ別*)



CABの配分
(NACE¹ マクロ・セクター別)



CABの配分
(地域別)

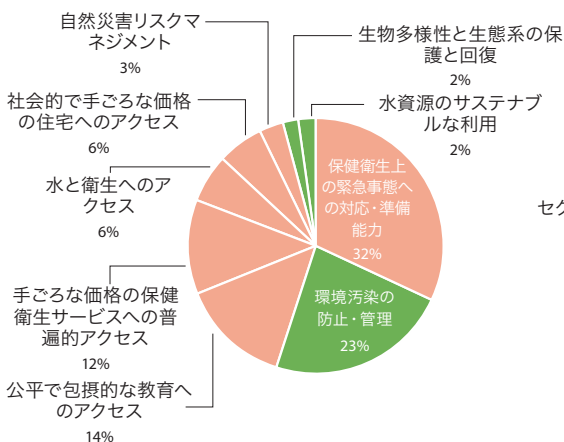


*技術専門家グループのEUグリーンボンド基準ユーザビリティ・ガイド案は、配分を「低炭素」「移行」「イネープリング(可能にする)」に分類することを求めています。「移行」活動の定義に関してはEUタクソノミー規則第10条第2項、「イネープリング」活動の定義に関しては同第16条を参照してください。

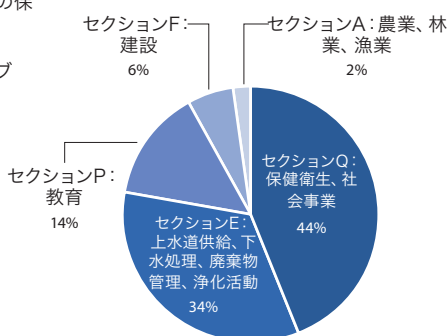
SABで調達した資金は、気候変動緩和以外の環境的・社会的持続可能性目標に重要な貢献をする活動へのEIBの融資に分配されます。

2021年の末監査データによると、35か国92件のプロジェクトに対して27億ユーロが分配されました。このうち、16億ユーロはEU加盟14か国での61件のプロジェクトに分配され、11億ユーロは欧州連合以外の21か国31件のプロジェクトに分配されました。

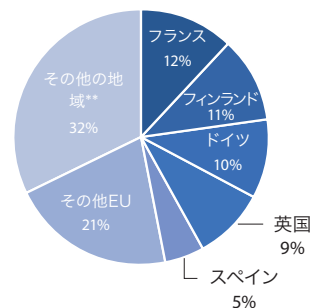
SABの配分
(持続可能性目標別)



SABの配分
(NACE¹ マクロ・セクター別)



SABの配分
(地域別)



**「その他の地域」は、アジア、アフリカ、カリブ海、太平洋、地中海の様々な国を支援する地域的SAB適格プロジェクトを含みます。

2021年におけるプロジェクト別、債券別の詳細な配分報告(未監査データ)は以下のEIBウェブサイトから入手できます:

- ・ <https://www.eib.org/en/investor-relations/publications/all/eib-cab-projects-2021>
- ・ <https://www.eib.org/en/investor-relations/publications/all/eib-sab-projects-2021>

CAB・SAB適格な持続可能性目標 — 現状維持

	気候変動への認知度を高めるための債券 (CAB)	持続可能性への認知度を高めるための債券 (SAB)	
	環境	環境 (気候変動緩和以外)	社会
目標	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動緩和 (2007年) 	<p>これまで:</p> <ul style="list-style-type: none"> 水と海洋資源の持続可能な利用と保護 (2018年) 環境汚染の防止と管理 (2018年) 生物多様性と生態系の保護と回復 (2021年) 	<p>これまで:</p> <ul style="list-style-type: none"> 水と衛生へのアクセス (2018年) 自然災害リスクマネジメント (2018年) 公平で包摂的な教育へのアクセス (2019年末) 手ごろな価格の保健衛生サービスへの普遍的アクセス (2019年末) 保健衛生上の緊急事態への対応・準備能力 (2020年) 社会的で手ごろな価格の住宅へのアクセス (2021年)

¹ NACE: Nomenclature statistique des activités économiques dans la Communauté européenne: 欧州共同体における経済活動の統計上の分類、欧州連合で使用する業界標準分類システム。

EIBはEnvironmental Finance 2022ボンド・アワードを受賞

2022年3月31日、100名以上の投資家による審査を経てEnvironmental FinanceはEIBに以下の賞を授与しました。

- ・ SAB枠組みに対して年度最優秀イニシアティブ(サステナビリティ・ボンド)、および
- ・ CAB/SABインパクト・レポートに対して年度最優秀インパクト・レポート(発行体)

このアワードは、当行が、EIBオペレーションズ評価部門がCAB報告書で示した構想に沿って、EUタクソノミーとEUグリーンボンド基準の早期および漸進的適用を実際に示すという点で果たしている役割を評価したものです。

2021年末近くに公表した2020 CAB枠組みおよび2020 SAB枠組みの中で、当行は、欧州委員会のサステナブルファイナンスに関する技術専門家グループが提案するEUグリーンボンド基準にCABとSABのインパクト・レポートを整合させました。これにより、これらのインパクト・レポートにはNACEマクロ・セクターや持続可能性目標への寄与の種類(CABに係る「低炭素」「移行」「イネープリング」活動など)に関するプロジェクト情報が含まれます。また、これらのレポートでは、CABの適格範囲拡張(低炭素輸送、革新的な低炭素製造、研究・開発・イノベーションに拡張)やSABの適格範囲拡張(教育、新型コロナウイルス関連のプロジェクトを含む保健に拡張)を受けた新たなプロジェクトのインパクト指標も充実させました。

「最新の文献、基準、原則を取り込むことによってベスト・プラクティスを確立している。それだけでなく、将来の文献へのコミットメントが枠組みに組み込まれていることで、この候補者は思考の最前線に立っている。しかも、2007年5月にグリーンボンド市場革命の口火を切る初の発行を行ったのもこの候補者である」

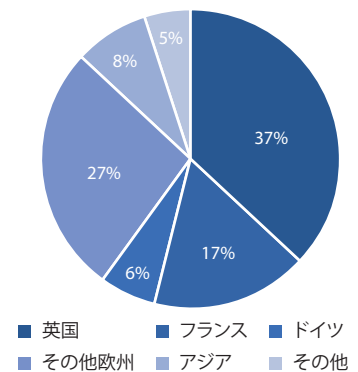
Environmental Financeボンド・アワード審査員

EARN形式のCABでサステナビリティ・ファンディングを主流化

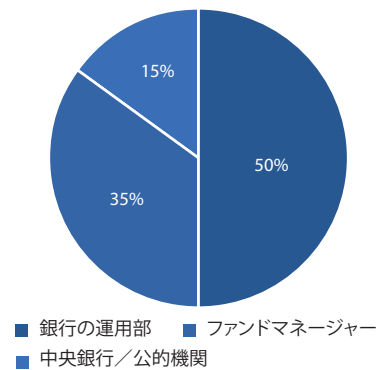
欧州投資銀行が実施しているグリーン融資とEUタクソノミー規則との段階的整合化により、CABやSABで調達された資金がこういった融資活動への支出に配分されるのに従って、サステナビリティ・ファンディングの規模が拡大しつつあります。適格支出の増加やより大型で流動性のある債券を求める投資家需要の高まりに応じて、当行は、最低発行規模が通常30億ユーロであるユーロ・エリア・リファレンス・ノート(EARN)形式でのCABの発行開始を決定しました。

初の気候変動への認知度を高めるためのEARN(Climate Awareness EARN)は2022年5月16日に発表されました。正式な募集は早期に5月17日から開始され、価格ガイダンスはミッドスワップから17ベースポイント低く設定されました。投資家の反応は良く、結果としてスプレッドはミッドスワップから19ベースポイント低い水準で決定され、最終的な応募額は230億ユーロを上回りました。発行額は40億ユーロで、EIBがこれまでに発行したCABでは最大となりました。これにより、サステナビリティ・ファンディングが年初来の当行の資金調達合計額に占める割合は27%に達しました。

地域別の需要



投資家タイプ別の需要



Summary of terms and conditions	
発行額	40億ユーロ
価格設定日	2022年5月17日
支払日	2022年5月24日 (T+5)
満期日	2032年6月15日
クーポン	年利1.5%、Actual/Actual ICMA
再オファー・スプレッド	MS (ミッドスワップ) -19bp
手数料	0.175%
上場取引所	ルクセンブルク証券取引所
主幹事	BofA Securities, BNP Paribas, J.P. Morgan and NatWest Markets
共同主幹事	Banca Akros, Banco Santander, DZ Bank and LBBW

CABおよびSAB — 主なポイント

- ✓ 早期および漸進的な整合: EUタクソノミーおよびEUグリーンボンド・ガイドラインとの整合性
- ✓ 遵守: グリーンボンド原則、ソーシャルボンド原則およびサステナビリティ・ボンド・ガイドラインを遵守
- ✓ 一義的分類: 配分は1つの主要な持続可能性目標にのみ帰属、二重カウントは不可
- ✓ 適格性の継続的審査: 融資承認時の決定、融資実行時の再評価
- ✓ 透明性: 配分は自動的に決定。新規支出に対してのみ配分し、借り換えには配分せず
- ✓ 説明責任: 調達資金の使途(債券ごと)および環境的・社会的インパクト(プロジェクトごと)に関する年次報告
- ✓ 信頼性: KPMGによる独立性を担保した合理的な保証報告書 (ISAE3000)
- ✓ AAA格のメリット: 他のEIB債と同格のシニア無担保債
- ✓ 同種機関のリーダー: MDBの中でグリーン・サステナビリティボンドの最大の発行体。22通貨建てで582億ユーロを発行

免責事項

本資料は情報提供だけを目的としています。本資料は証券購入の申出または勧誘ではなく、また、本資料において示される情報は、何らかの契約上またはその他のいかなる種類の義務の根拠となるものではありません。EIBにより発行された証券は、米国証券法において登録されていない限り、米国において、または米国外にいる米国人に対して、提供または売却することができません。その他の国でも同様の制約を受けることがあります。本資料には、予想、見積り、予測および仮定に基づいた将来の見通しに関する記述が含まれています。こうした記述は将来のパフォーマンスを保証するものではなく、予想が困難な一定のリスクや不透明性を含んでいます。実際の将来の結果やトレンドはこうした見通しに関する記述で予想された内容と大幅に異なることがあります。本資料は、公表日現在に限定されたものであり、EIBには公表日以降に発生した事象、状況または予想の変更を反映させるよう本資料を更新する義務はありません。

欧州投資銀行
サステナビリティ・ファンディング・チーム
98-100, boulevard Konrad Adenauer
L-2950 Luxembourg
sustainabilityfunding@eib.org